

## 2020年度プロジェクト活動報告：コミュニティ・レジリエンス・リサーチ

### ■プロジェクト代表：金山智子

分担者：小林孝浩、吉田茂樹

履修生：松村明莉、メノン・カルティカ、鄧玉潔

### ■研究概要

本プロジェクトでは、地域の問題を「社会生態系システムのレジリエンス」として捉え直し、また意識化することで、これからの持続可能な地域社会への移行を望む私たちにとって何が大切なのかを探求することを目的とする。本プロジェクトはこれまで5年間実施した「根尾コ・クリエイション」プロジェクトの後継プロジェクトであり、本巢市根尾でのフィールドワークを実施したが、それ以外の中山間部にて産業跡や生活の跡についてフィールドワークを行い、比較調査も実施した。また、岐阜県内の博物館やミュージアムでの見学を実施し、多様な情報から、フィールドワークから見出したものを考察することを試みた。今年度(1年目)の初めは、COVID-19の影響でオンラインとコミュニケーションロボットを用いてリモートによるフィールドワークに挑戦した。夏以降は、現場でのフィールドワークを実施し、結果として25回のフィールド調査を行うことができた。

今年度の調査から、プロジェクトでは「分解者」という一つの答えを導きだした。分解者とは、生産者・消費者・還元者であるが、あるものを違うものへと作り変えるという意味において「世界を作り直す」ものである。IAMAS2021では多様な分解者の姿を、「根尾の分解者たち：composition, decomposition, recomposition」と題してIAMAS2020にて展示を行った。

### ■主な活動内容

#### (1) フィールドワークおよび施設見学

2020/5/13	根尾高尾、能郷集落	伊藤翔太氏の山守ビジネス見学、能郷集落の羽田すみ子さんの炭小屋での芋煮の見学（オンライン）
2020/6/8	根尾能郷集落、上大須ダム	能郷集落の水源地調査、羽田すみ子さん宅にて辣蕪漬け見学、上大須ダム見学
2020/6/15	根尾越卒集落	越卒集落の斎場調査、所孝一さん（所機械）インタビュー、所さんの田植え作業手伝い

2020/6/22	根尾畑、長嶺集落	プロジェクトの畑草刈り、長嶺集落の陶芸家金子典栄さん訪問インタビュー
2020/6/29	根尾畑、根尾春日神社、根尾川河原	畑作業、神社&河原フィールドワーク
2020/7/13	根尾畑、門脇集落、大井集落、八谷集落、越卒集落	フィールドワーク（神社、水源ほか）、所孝一さんインタビュー
2020/7/18	岐阜県立博物館	博物館内と所蔵庫の見学と博物館スタッフとの意見交換
2020/7/22	根尾公民館	根尾盆踊り練習、3Dデータ作成の撮影、インタビュー
2020/7/28	根尾畑	手入れ
2020/8/28	根尾長嶺集落	陶芸家金子典栄さん訪問
2020/9/4	根尾畑	畑での廃品利用データ収集
2020/9/9	根尾畑	草刈り
2020/9/26	根尾越波集落、上大須集落	廃屋の調査、五郎さんたち墓の養生インタビュー、アーティスト林さん宅訪問インタビュー
2020/10/11	根尾黒津・越波集落	廃家調査、元小学校跡周辺フィールドワーク、河原廃棄物調査
2020/10/23	多治見モザイクタイルミュージアム	ミュージアム見学、タイル産業学習、ワークショップ参加
2020/10/29	上石津時山第一発電所&第二発電所跡（大垣市上石津）	旧発電所跡フィールドワーク
2020/11/1	旧長嶺小学校、越波集落	廃校撤去作業調査、廃屋調査、フィールドワーク
2020/11/6	金生山明星輪寺、石灰採掘現場（赤坂）	明星輪寺訪問、周辺フィールドワーク、採掘現場の見学
2020/11/14	根尾能郷集落	能郷水力発電所跡調査、移設された祠および周辺フィールドワーク、根尾断層館見学
2020/11/20	春日森の博物館（揖斐川町）池田町フィールドワーク	『聞き写し 春日』写真展見学、池田町茶畑見学
2020/11/27	根尾黒津・越波集落	河原廃棄物調査、廃屋調査
2020/11/27	根尾越卒集落	所孝一さん取材

2020/12/4	根尾越波集落(五郎さん宅)	松葉五郎さんインタビュー
2020/12/11	美濃まほろば(本巣市)	松葉五郎さんインタビュー
2021/2/8	根尾、上大須集落、上大須ダム	ダム見学、雪に埋まった集落のフィールドワーク

## (2) 成果発表

IAMAS 2020 にて発表した。展示内容を冊子にして IAMAS BOOKS にて配布予定。

タイトル : 「根尾の分解者たち : composition, decomposition, recomposition」  
 コンセプト : 大量に生産・消費・廃棄されるモノが生痕化石となる人新世の時代を、私たちはどう生きていくのか。その思考の手掛かりを山村の小さな集落に求めた。その答えの一つは分解者一過剰に産み出されたモノ・サービス・システムの世界を再生・再転換させていくもの一であり、展示ではモノと生物の相互作用をまとまりとした社会生態系のあり方を、分解者たちの姿で表現した。